

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「日本新興市場成長株オープン」は、このたび、第9期の決算を行いました。

当ファンドは、日本新興市場成長株マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として、わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定の株式を含みます。）に投資し、投資信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第9期末(2016年4月12日)

基準価額	10,593円
純資産総額	279百万円
第9期	
騰落率	△ 0.2%
分配金(税引前)合計	600円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページの「ファンド一覧」等から当ファンドのファンド名称を選択することにより、「ファンド詳細」ページにおいて運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

日本新興市場成長株オープン

追加型投信／国内／株式

作成対象期間：2015年4月14日～2016年4月12日

交付運用報告書

第9期(決算日2016年4月12日)

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>

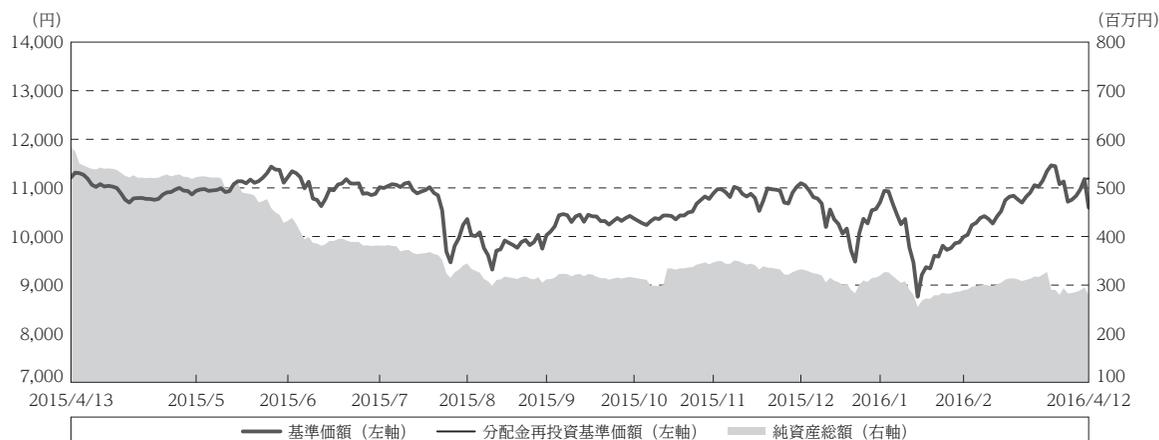
*アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。
*機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



運用経過

期中の基準価額等の推移

(2015年4月14日～2016年4月12日)



期 首：11,214円

期 末：10,593円 (既払分配金(税引前):600円)

騰落率：△ 0.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2015年4月13日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

主要投資対象である「日本新興市場成長株マザーファンド(以下、マザーファンド)」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・業種配分では、サービス業、医薬品、不動産業などが基準価額にプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、ペプチドリーム、セプテーニ・ホールディングス、エフアンドエムなどが基準価額にプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・業種配分では、情報・通信業、電気機器、小売業などが基準価額にマイナスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、ホットランド、ディー・エル・イー、フィックスターズなどが基準価額にマイナスに寄与しました。

1万口当たりの費用明細

(2015年4月14日～2016年4月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	183	1.702	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(93)	(0.862)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(81)	(0.754)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(9)	(0.086)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	51	0.471	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(51)	(0.471)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	1	0.011	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.011)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	235	2.184	
期中の平均基準価額は、10,745円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2011年4月12日～2016年4月12日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2011年4月12日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2011年4月12日 期初	2012年4月12日 決算日	2013年4月12日 決算日	2014年4月14日 決算日	2015年4月13日 決算日	2016年4月12日 決算日
基準価額 (円)	5,315	5,385	7,817	8,836	11,214	10,593
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0	1,100	600
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	1.3	45.2	13.0	39.4	△ 0.2
日経ジャスダック平均株価騰落率 (%)	—	12.8	33.3	7.1	30.4	△ 5.3
東証マザーズ指数騰落率 (%)	—	△ 10.8	69.8	7.7	31.3	15.0
純資産総額 (百万円)	415	305	510	467	583	279

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 日経ジャスダック平均株価、東証マザーズ指数は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。

投資環境

(2015年4月14日～2016年4月12日)

国内株式市場は、期首から2015年8月上旬までは、米国株高や円安を背景に堅調な展開となりましたが、中国の景気減速や米国の金融政策に対する警戒感を受け、9月下旬にかけて下落しました。その後は、中国が政策金利を引き下げたことや欧州中央銀行（ECB）のドラギ総裁が追加金融緩和に前向きな発言を行ったことなどが市場で好感され、11月後半にかけて国内株式市場は戻りを試す展開となりました。しかしながら、世界的に経済成長率の鈍化が懸念されるなか、米国で利上げが実施されたことで投資家のリスク回避の姿勢が強まり、期末にかけて国内株式市場は再度軟調に推移しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2015年4月14日～2016年4月12日)

当ファンドの運用はマザーファンドを通じて行いました。マザーファンドの運用につきましては、ジャスダック、東証マザーズ等の新興市場上場銘柄を中心に、独自の技術・サービスや新しいビジネスモデルの構築、ニッチな市場でのシェア獲得などに着目して銘柄選別を行いました。

中古マンション事業の収益拡大や賃貸管理、物件仲介など周辺事業の収益寄与による利益成長が期待されたスター・マイカや建築向けのコンクリート基礎製品の需要が拡大すると考えられたヨシコンなどを新規に組み入れました。

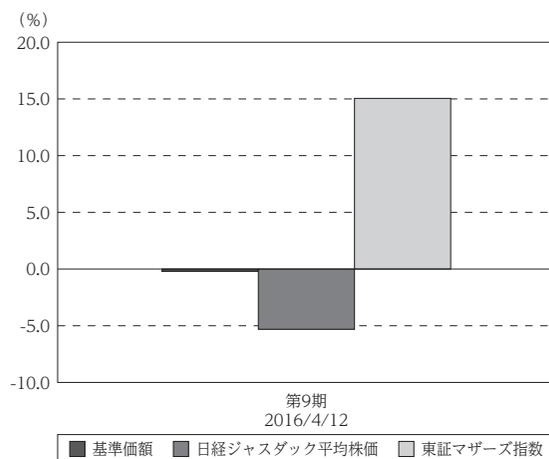
一方、利益成長率の鈍化が懸念されたフィックスターズや北米でのモバイルデータ解析ビジネスの失速などにより、業績予想の減額修正を発表したサン電子などを売却しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2015年4月14日～2016年4月12日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、日経ジャスダック平均株価、東証マザーズ指数です。

分配金

(2015年4月14日～2016年4月12日)

当ファンドは、毎年4月12日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行います。収益分配は、基準価額が当初元本（1口当たり1円。以下、同じ。）を超えている場合は、当初元本を超える額の50%程度を目途に分配金額を決定します。基準価額が当初元本を下回っている場合は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ分配金額を決定します。

当期の分配金につきましては、基準価額が当初元本を上回っているため、分配方針に則り、1万口当たり600円（税引前）とさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第9期
	2015年4月14日～ 2016年4月12日
当期分配金	600
（対基準価額比率）	5.360%
当期の収益	75
当期の収益以外	524
翌期繰越分配対象額	592

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

国内株式市場は、世界的な経済成長率の鈍化や不安定な資源価格動向などから、短期的には上値の重い展開が予想されますが、日本企業の収益性改善に対する期待や割高感のないバリュエーションなどを背景に、中長期的には緩やかに上昇すると想定しています。

当ファンドの運用はマザーファンドを通じて行います。マザーファンドの運用につきましては、ジャスダック、東証マザーズ等の新興市場上場銘柄を中心に、独自の技術・サービスや新しいビジネスモデルの構築により中長期的な事業拡大が期待される銘柄やニッチな市場で高いシェアを獲得することで高収益が期待される銘柄などを組み入れていく方針です。

当面は、世界的な景気減速が懸念されるため、海外売上など外需依存度の大きい銘柄の投資比率を抑制し、海外要因に業績を左右されにくい内需関連銘柄を中心に組み入れる方針です。

※文中の投資行動は、個別銘柄の売買等いかなる投資行動も推奨するものではありません。

お知らせ

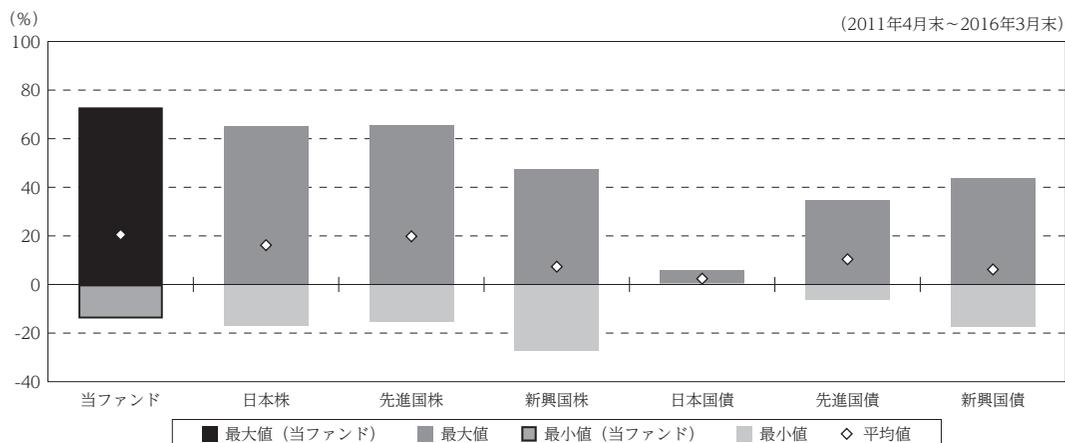
金融商品取引業等に関する内閣府令等の改正に伴い信用リスクを適正に管理するために、投資信託約款に所要の整備を行うべく、約款の変更を行いました。(実施日：2016年1月8日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間	2007年4月13日から2017年4月12日までです。	
運用方針	日本新興市場成長株マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券への投資を通じて、主として、わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定の株式を含みます。）に投資し、投資信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	日本新興市場成長株マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定の株式を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	日本新興市場成長株マザーファンド	運用にあたっては、ジャスダック、東証マザーズ等の新興市場上場株式中心に投資を行います。 なお、新興市場以外の株式を組入れる場合は、取得時の株式時価総額が2,000億円以下の銘柄とします。 ボトムアップ・アプローチにより、利益成長が期待できる銘柄を選定します。
分配方針	毎年4月12日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 収益分配は、基準価額が当初元本（1口当たり1円。以下、同じ。）を超えている場合は、当初元本を超える額の50%程度を目処に分配金額を決定します。基準価額が当初元本を下回っている場合は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ分配金額を決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	72.9	65.0	65.7	47.4	6.1	34.9	43.7
最小値	△ 14.0	△ 17.0	△ 15.6	△ 27.4	0.4	△ 6.3	△ 17.4
平均値	20.5	16.2	19.8	7.3	2.4	10.4	6.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2011年4月から2016年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2016年4月12日現在)

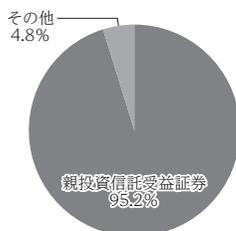
○組入上位ファンド

銘柄名	第9期末
日本新興市場成長株マザーファンド	95.2%
組入銘柄数	1銘柄

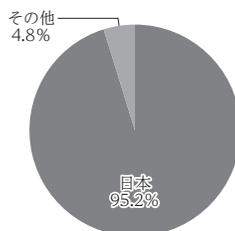
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

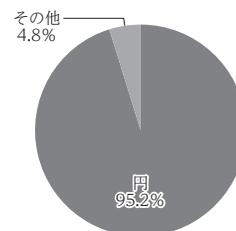
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

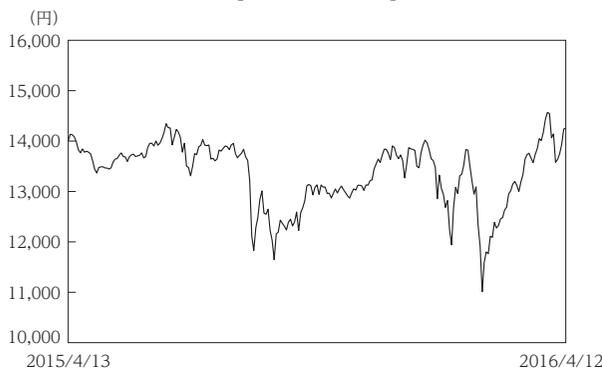
項目	第9期末
	2016年4月12日
純資産総額	279,498,185円
受益権総口数	263,856,355口
1万口当たり基準価額	10,593円

(注) 期中における追加設定元本額は66,373,243円、同解約元本額は322,916,722円です。

組入上位ファンドの概要

日本新興市場成長株マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2015年4月14日～2016年4月12日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株 式)	65 (65)	0.484 (0.484)
合 計	65	0.484
期中の平均基準価額は、13,521円です。		

- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2016年4月12日現在)

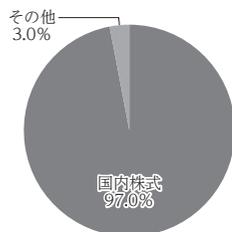
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	デジタルガレージ	情報・通信業	円	日本	5.6
2	セブテーニ・ホールディングス	サービス業	円	日本	4.7
3	CYBERDYNE	精密機器	円	日本	3.5
4	ペプチドリーム	医薬品	円	日本	3.5
5	スター・マイカ	不動産業	円	日本	3.4
6	エフアンドエム	サービス業	円	日本	3.1
7	じげん	情報・通信業	円	日本	2.9
8	アイティメディア	サービス業	円	日本	2.9
9	ファインデックス	情報・通信業	円	日本	2.8
10	KeepPer 技研	サービス業	円	日本	2.8
組入銘柄数			59銘柄		

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

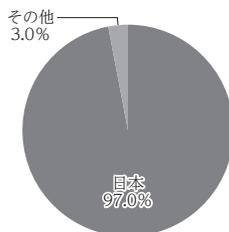
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

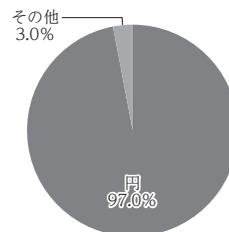
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。